

発祥のアメリカで7兆円産業と言われているドロップショッピング（DS）は日本でも06年度から急速に拡大しています。

業者と契約した個人がネット上にホームページを開設、家電などを宣伝し、

注文を受け付けるのがDS。商品の発送は業者が行い、販売価格は個人が決めるなど、在庫を抱えずに済み、人手もかからないことから広がりを見せています。ところが、トラ

ドロップショッピング

ブルが急増中。国民生活センターによると、09年度のネット商法での相談、苦情は06年度の8倍の1109件。

内容は、初期設定費用を払ったがホームページが開設されない、契約解除に応じないなど。悪質業者は①数百万円の高額な初期設定費用を請求する②「必ずもうかる」と強調する③契約書に契約解除や返金方法を書かない、などが特徴です。

防犯一口メモ